

(仮称) 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画 (案)

第4回検討会議 会議録

1. 日 時 平成30年3月14日(水) 10:00から12:00まで
2. 場 所 大磯町保健センター1階 保健指導室
3. 出席者 委 員 19名(欠席1名) ※出席者について別紙参照
事務局 7名
傍聴人 12名

4. 議 題

協議事項

- (1) 大磯駅前広場計画
- (2) 旧駐輪場跡地計画の検討
- (3) 幹線12号線、県道大磯停車場線の安全性向上のための整備手法整理
- (4) 計画(案)の確認
- (5) 次年度以降のスケジュール
- (6) まとめ

5. 議事経過

I. 開会

事務局) 本日は、関係機関協議により駅前広場計画案に修正が生じたことを報告する。また、旧駐輪場跡地の活用方針の例示、大磯駅前広場への主要な動線の安全確保策の議論、来年度以降の進め方の報告を行う。検討会議は本日で終了となるが、最後まで活発な議論をお願いする。

II. 検討会議 ○:質問者 ◎:答弁者

【議題(1) 大磯駅前広場計画】

- ・ ランズ計画が資料-1(P1-1~)により、大磯駅前広場計画について説明。

〈計画について〉

- 委員) 今後、明治記念大磯邸園(仮称)やみなとオアシスができる観光客がどのくらい増えることを想定しているのか。
- ◎会長) 事業目的として、必ずしも観光客ということではなく、町民がよりよい空間をとるという考えが強いと思う。
- ◎事務局) 大磯町の入り込み観光客数は、平成28年で約86万人。町は、みなとオアシスの整備による増加で100万人を目指して観光施策を進めている。明治記念大磯邸園(仮

称)は、国が計画を進めているが、具体的な数値はわからない。

- 委員) 町民に説明するのに納得いただく根拠が少ないと思った。アンケート調査で、一番の要望が一般車の乗降場の整備となっているが、住民の意向が反映されていないという印象を受ける。なぜこのような形になったのか。
- ◎会長) 駐停車の需要があることは認識しているが、駅前広場は駐車禁止。また、プライベートな車が駅前に乗り入れるのは本来望ましくないことを、今回の計画を通して住民にご理解いただき、安全で使いやすい駅前広場を目指そうという考えがある。
- ◎事務局) 駅前広場で一番に確保したいと考えたのが、歩行者の安全である。次が、バスやタクシーなどの公共交通である。バス・タクシー事業者には、現計画の中でも多少我慢していただいている。最後に一般車は、最大限盛り込んだとしても、今回の計画台数(4~5台)になる。仮に、一般車の利用を優先して考えた場合、一般車が増え公共交通の利用者が減ってしまい、バスの運行本数・路線が確保できなくなる懸念がある。また、基準算定の結果からも、若干一般車乗降場の必要台数が足りないもので、旧駐輪場跡地も活用しながら確保していくという考えである。
- 委員) 残念ながら大磯は全ての道路が明るいわけではない。暗い夜道を歩かせたくないため一般車の送迎が必要である。また、現在、大磯町は30,40代の人口が増えている。今後、通勤・通学が増える。送迎スペース確保は必ず必要になる。お金をかけたのに、不便になったとにならないように留意してもらいたい。
- ◎会長) 貴重なご意見として頂戴する。ただし、駐車は認めることができないことはご理解いただきたい。

〈概算工事費について〉

- 委員) 町はこんなにもお金があるのかと驚いた。防災施設に使ってほしい。
- ◎会長) 工事をするならこのくらいかかるという金額であって、町が実際に事業に使えるお金ではない。
- 委員) 整備で駅前が大きく変わるならば、投資に見合った結果が得られて良いが、整備後に今の状態とほぼ変わらないのであれば、他に使ってほしい。
- ◎会長) 整備内容と投資額とその効果については、これから精査しなければいけない。費用の節約等に関しては、今後計画を進めていく中で検討していくことだと思う。
- ◎事務局) 今回提示している計画案で整備するとしたら、これだけかかるという想定である。町全体を見ながら総合計画に基づいて予算の適正を判断しながら、決めていく。今回提示したのは、概算である。

〈C案について〉

- 委員) C案は、バスタクシー専用通行帯は車道として計画していくのか。バスタクシーのみ通行可という規制はどのようにしていくのか。中央の横断歩道でバスが停まったとき、東側ロータリーを一般車が通行できず車の交錯があるので危険ではないか。一般車の通過交通を避けるというのがC案のコンセプトだと思うが、国道1号の交通量がどのくらい変わるのか示してほしい。

- ◎会長) 最後の点は、今後のシュミレーションで行っていく。
- ◎事務局) バスタクシー専用通行範囲は車両が乗り入れる以上は車道扱となる。また、神奈川県警本部と規制のあり方を協議中で、具体的な方法は、協議を進めていく中で情報提供できたらと思う。また、中央の横断歩道でバスが停まった場合でも、東側から来た一般車は計画の車道幅員があれば物理的に回ることができるが、バスの後方が車道にかかるので、微修正が必要だと考えている。
- ◎会長) 最後の点は、それぞれ待ってもらわなければならないと思う。ちょっとずつ譲り合うことが基本で、その思想で運用していくという考えである。

〈まとめ〉

- 会長) A案, C案のどちらにするかをこの場で決めるのではなく、今後詳細をつめていくということで、この議論の結果とさせていただく。

【議題(2) 旧駐輪場跡地計画の検討】

- ・ ランズ計画が資料-1 (P2-1~) により、旧駐輪場跡地計画の検討について説明。

- ◎会長) 具体的な案が3案出ているが、イメージとして提示しており、この議論でどれにするかを定めるものではないことをご理解いただきたい。
- ◎副会長) 私の印象では、交番が目立っているが、駅前の玄関口になるので、町民が親しんでもらうため、配置や景観等にも配慮して計画していただけると良い。

〈旧駐輪場跡地付近の私有地について〉

- 委員) 私有地があるが、今後の対策や対応はどうする予定なのか。
- ◎会長) 引き続き所有者と町で協議して、今後実現されるときには一体で整備できるのが望ましいと思う。今年の段階では、計画案に書くことは難しい。
- 副会長) 大磯には魅力があるので、来た方に知っていただくのが大事。観光案内所などは来た方がアクセスしやすい場所だと思うので、歴史や文化などに親しめる場所になると良い。デザインに大磯らしさが出ると良い。

〈その他利用地区について〉

- 委員) その他利用地区の一体利用は具体的に考えてもらいたい。一体的に利用するには、駐輪場の通路を横断する必要があるので安全性も配慮してもらいたい。

【議題(3) 幹線12号線、県道大磯停車場線の安全性向上のための整備手法整理】

- ・ ランズ計画が資料-1 (P3-1~) により、幹線12号線、県道大磯停車場線の安全性向上のための整備手法整理の検討について説明。

〈県道拡幅について〉

- 委員) 県道は、現状は十分な幅員があるわけではない。今までの経緯を考えれば、すぐに整備できるかという合意形成がないと前に進めない。部分拡幅についても旧マンション計画があった公社の土地に関して、土地利用やどのように斜面を削っていくのか等、やり方によっては相当な費用がかかってくる。県道の整備については、土地の使い方や合意形成に加え、景観の検討等と一緒に考えていく必要がある。
- ◎会長) 関係各所との合意形成が一番難しい。コスト等も含めて今後検討が必要だと思う。
- 委員) 歩道片側改修について、素人の考えではあるが、スロープ型の2階建てにはできないのか。駅から交差点まで繋がるスロープがあると安全でおもしろいと思う。
- ◎会長) 1つの夢のあるプランの意見として承る。
- 会長) 比較的早く対応できるのは路面標示等による交通の静穏化だと思うので、安全を高めるための速度の抑制を検討してもらえると良いのではないかと。

〈歩行者の安全性について〉

- 委員) 観光客が歩くには、さざんか通りが安全なので、うまく誘導していくサイン計画が安全性向上には大きいと思う。
- ◎会長) 案内サインについては前回検討した。計画(案)には記載している。

〈まとめ〉

- 会長) 歩行者安全対策についても今後さらに検討いただく。比較的早く着手できるものに関しては具体的に進めてもらうのが望ましい。

【議題(4) 計画(案)の確認】

- ・ ランズ計画及び大磯町が別冊資料により、計画(案)を確認。

- 事務局) 計画(案)の概算工事費の中身は、駅前広場のコンクリート舗装の路面の劣化、継ぎ目の段差、後から掘削した跡のパッチワークなどの舗装の更新が含まれている。また、景観に配慮して南側歩道の電柱を地中化する費用も含まれる。これら全てをやると決めているのではなく、A案C案を実現するとこのような金額になるということで、概算として算出している。また、工事は駅前広場を使いながら工事するため一度には工事できず、仮設工事費も必要になってくる。あくまで概算である。

【議題(5) 次年度以降のスケジュール】

- ・ 大磯町が資料-1(P5-1~)により、次年度以降のスケジュールについて説明。

- 委員) 大磯は、車を使って来れば観光的には良い立地だと思う。本計画では、駅を中心にもものを見ているが、港から駅及び町を見たら、プランが変わってくるのではないかと。港の県営駐車場規模の駐車場があるのは、江ノ島、鎌倉、大磯くらいである。大磯

の観光資源をいかに使っていくかという考えが必要であると思う。

- ◎会長) 観光の視点から見っていくことで、意見として承る。
- 委員) 社会実験は次年度行うのか。
- ◎会長) そうとは限らない。

【議題(6) まとめ】

会長) 「大磯駅前広場計画」は、A案、C案の2案を並行して検討を進めていく。次年度以降、さらに関係機関との協議等を経て検討を進めていく。「旧駐輪場跡地計画の検討」は、周辺地区と連動させて整備することが重要なので、今後さらに検討していく。「幹線12号線、県道大磯停車場線の安全性向上のための整備手法整理」については、物理的に拡幅すること等はすぐにできないので、長期的な検討として関係する方々との合意形成に配慮していく。ただし、比較的早い時期に検討できるものは、具体化に向けて検討していくことになる。「計画(案)の確認」は、今までの議論をとりまとめたものとして確認いただいた。「次年度以降」について、検討会議は本日までのため、町民の方及び関係機関との協議を経て具体的な案を絞り込んでいくことにさせていただく。A案、C案を検討する必要性は大いに残っており、広く町民の意見を聞き、関係機関との協議を行い、検討を具体的にしていきたい。町民の協力がなければできない検討も多いので、協力をお願いする。今後の計画案を実現していく中でも、町民の誇りとなる計画を進めていくことを期待したい。

Ⅲ. 閉会

事務局) 昨年の7月から本格的に始まった大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画の検討は、1年足らずの期間だが非常に内容の濃い検討だった。

この検討会議は、本日でいったん終了する。検討が必要な部分も残っているが、これまで有意義な議論を行い、一定の方向性を示せたと思っている。様々な立場から多くのご助言、ご指導を賜った委員の皆様の協力のお蔭である。

— 以上 —

— 別紙 —

(仮称)大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画(案) 検討会議委員 出席者

種 別	名 称	氏名	出欠	備考
学識経験者等	交通工学(国立大学法人東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学 系 教授 工学博士)	朝倉 康夫	○	
	集客学、集客空間論(東京都市大学 都市生活学部都市生活学科 教授、都 市生活学部学部長 工学博士)	川口 和英	○	
地元関係者	北本町町内会	出縄 政美	○	区長
	南本町町内会	中村 雅一	○	区長
	茶屋町町内会	鈴木 豊男子	○	区長
	神明町町内会	岩崎 英二	○	区長
	公益社団法人大磯町観光協会	柳田 昌巳	○	副会長
	大磯町商工会	伊藤 廣孝	○	副会長
	NPO 法人大磯ガイド協会	浅見 和男	○	会長
	大磯港みなとまちづくり協議会	山口 明宏	○	副会長
	大磯市実行委員会	原 大祐	○	
行政関係機関	神奈川県警 大磯警察署	伊澤 浩明	○	交通課長
	神奈川県 県土整備局 平塚土木事務 所 工務部 道路維持課	五十嵐 敬	○	課長
	神奈川県 県土整備局 平塚土木事務 所 計画建築部 まちづくり推進課	向井 潤一郎	欠	課長
	大磯町 都市建設部	笹山 隆二	○	部長
	大磯町 政策担当参事	森田 敏幾	○	参事
オブザーバー (駅前広場利 用事業者)	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 総務部 企画室	仲手川 仁志	○	副課長
	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課	露木 輝久	○	課長
	伊豆箱根交通株式会社大磯営業所	木村 充宏	○	所長
	株式会社プリンスホテル 大磯・鎌倉 地区	伊丹 信一郎	○	総支配人
事務局	(株)ランズ計画研究所	3名	○	委託業務受託者
	大磯町 参与(まちづくり)	芝原 靖典	○	
	大磯町 都市建設部 都市計画課	小瀬村 昭 福田 勉 高塚 健太郎	○ ○ ○	課長 係長 主査